

伊勢大橋架け替え事業 着々と進む

現在の新しい伊勢大橋の橋脚建設箇所



展示中！新しい伊勢大橋に使用している鉄筋 D51

市役所1階ロビーに展示中!!

この部材が展示されています

柱鉄筋組立の様子

橋脚を上から見ると...

橋脚を作っている様子

完成した橋脚

市役所ロビーに展示されている鉄筋は、鉄筋コンクリート橋脚に使われているもので、橋の重みを支える重要な役割を担っています。太さは直径5.1cm、重さは1mあたり15.9kgあります。また黒い部材は鉄筋同士をつなぐために使用されている部材です。

伊勢大橋の架け替えについて市民の声を聞きました



仕事で毎日伊勢大橋を利用しています

長島総合自動車学校の送迎車の運転手

伊藤 金八 さん

毎日、仕事でスクールバスの運転手として伊勢大橋を使っています。今は渋滞が頻繁に発生し、困ることもありますが、新しい橋ができて渋滞が少なくなればと期待しています。

今の伊勢大橋にはとても思い入れがあります。この橋がなければ市街地に行くことも不便なので、生活に欠くことのできないものと思っています。地域の人たちやこの橋を作るのに携わった人たちにも感謝の気持ちでいっぱいです。

新しい橋になっても日々その気持ちを忘れずに利用したいです。

新しい伊勢大橋を心待ちにしています

長島町西外面在住

伊藤 重雄 さん



数十年前から架け替えの計画が持ち上がり、用地買収や住民説明会などが行われてきましたが、ようやく架け替えが実現するんだというのが率直な思いです。

老朽化した橋が新しく安全な橋になることによって、渋滞が少しでも軽減が見込まれるので、近くに住んでいて頻りに利用する者としては非常に心待ちにしています。反面小さいころから見てきた桑名のシンボルでもある今の伊勢大橋がなくなってしまうのは少し寂しい気持ちもします。

今のうちに伊勢大橋の絵や写真を残しておきたいと思っています。

この記事のお問い合わせは、土木課 (☎ 24-1210 FAX 23-4115) または、国土交通省北勢国道事務所 (☎059-363-5511) へ。

第8弾 生まれ変わる伊勢大橋 架け替え事業推進中

シリーズ

伸びゆくまち



昨年10月から伊勢大橋の架け替え工事が始まっています。現在は橋脚7基が完成し、引き続き新しい伊勢大橋の完成に向けて工事が進められています。

新しい伊勢大橋の建設状況

新しい伊勢大橋に期待されるストック効果

ストック効果とは

整備された道路や橋などの社会資本が機能することによって、整備直後から継続的に長い間にわたり得られる効果であり、生活における防災力の向上、生活環境の改善といった生活の質の向上をもたらす効果や、移動時間の短縮などにより経済活動における効率性・生産性の向上をもたらす効果のことを言います。

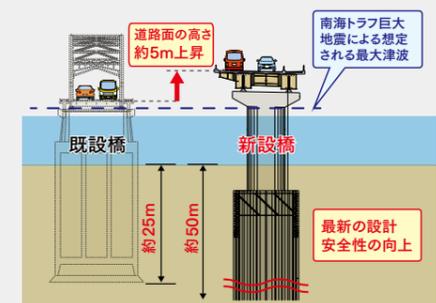
渋滞の緩和による物流・交通がスムーズに

道路幅を広げ、交差点に右折レーンを設けるなどの対策によって交通渋滞の緩和を図るだけでなく、市街地や観光地などへの交通がスムーズになり、地域経済の発展やさらなる観光客の増加が期待されます。



丈夫で安全な橋による安全・安心な地域形成

新しい橋は、現在の橋と比べ道路の高さが約5m高くなり、堤防整備によって巨大地震による津波、台風による高潮から水害を抑制します。さらに最新の橋梁の基準に基づいて設計することから、耐震性に優れた橋となります。そのため、災害時における避難経路や物資輸送路として確保されます。また、安全・安心な地域形成によって新たな企業立地による雇用の拡大も期待され、地域経済の発展が見込まれます。



桑名

桑名のまちづくりが進んでいく様子をシリーズ化してお伝えしていきます。